

問1 ある2つの地点の気候統計を比較したとき、地点Aは通年高温ながらも6月から8月の気温が他より高い傾向にあり、地点Bは6月から8月の降水量が極端に少なくなっています。地点Bがこのような気候特性を示す理由として、地理的な観点から最も適切な説明はどれですか。 (2023年 香川公立入試 類似)

- 赤道より南の南半球に位置しており、北半球が夏季にあたる時期に冬季(乾季)を迎えているため。
- 赤道より北の北半球に位置しており、夏季に大陸から吹き出す乾燥した季節風の影響を強く受けるため。
- 赤道直下に位置しているため、1年を通じて上昇気流が発生しやすく、月ごとの降水量の変化がほとんどないため。
- 北極に近い高緯度地域に位置しており、1年を通じて気温が低く、水蒸気が凝結しにくいいため。

問2 一九七〇年から二〇二〇年にかけての世界の地域別平均寿命の変化をまとめた統計データにおいて、読み取ることができる共通の傾向として最も適切なものはどれですか。 (2025年 群馬公立入試 類似)

- ヨーロッパや北米などの先進地域だけでなく、アフリカやアジアを含むすべての地域において平均寿命が延びている。
- 経済発展を遂げた東アジアや中東では平均寿命が延びているが、サハラ以南のアフリカでは以前より低下している。
- 先進地域では平均寿命が延び続けている一方で、発展途上地域では一九七〇年代から数値がほぼ横ばいの状態である。
- 世界全体での平均寿命は上昇しているが、それは北米やヨーロッパの急激な伸びによるもので、他の地域は停滞している。

問3 伝統的な住居は、現地の気候や風土に合わせて、身近にある素材を利用して建てられています。フィジーなどの熱帯の島々で見られる、ヤシの葉や木を利用した住居の工夫について述べたものとして、最も適切なものを選びなさい。 (2023年 高山公立入試 類似)

- 通気性を良くして、高い気温や湿気に対応するために、植物の葉や木を利用している
- 冬の寒さが厳しいため、植物の葉を何層にも重ねて断熱性を高めている
- 森林が少ないため、貴重な木材を最小限に抑えて石造りを中心に行っている
- 強風による塩害を防ぐために、壁に漆喰を塗って窓を完全に塞いでいる

問4 ある統計資料において、年平均気温が17.8度、年降水量が1272.8mmであり、1月と12月の気温が約25度と高く、6月・7月の気温が約10度まで下がる都市の状況を説明したものとして、正しいものを選びなさい。 (2021年 福岡県公立入試 類似)

- 南半球に位置し、日本などの北半球の国々とは季節が逆になっている。
- 北半球の温帯に位置し、日本と同じような時期に夏と冬が訪れている。
- 熱帯地方に位置し、一年中気温が高い状態が続いており、明らかな季節の変化がない。
- 南半球の乾燥帯に位置し、気温の変化は激しいものの、年間を通じて雨がほとんど降らない。

問5 インド洋周辺の地域では、夏と冬で吹く方向が逆転する風を利用した航海が古くから行われてきました。この風の名称と、航海における利用方法について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2021年 兵庫公立入試 類似)

- モンスーン(季節風)と呼ばれ、特定の時期に目的地へ向かう追い風として利用された。
- ハリケーンと呼ばれ、強い上昇気流による推進力を利用して短期間で移動するために利用された。
- 偏西風と呼ばれ、一年を通じて一定の方向に吹く風を利用して、アフリカから東向きに航行した。
- 貿易風と呼ばれ、赤道付近で常に東から吹く風を利用して、インドからアフリカへ短期間で往復した。

問6 世界の水資源の利用に関する説明として、アフリカとヨーロッパの状況を比較した内容として正しいものはどれですか。 (2023年 愛知公立入試 類似)

- 生活用水の使用量は、衛生施設が整っているヨーロッパの方がアフリカよりも格段に多い。
- 1人あたりの総水使用量は、人口が増えているアフリカの方がヨーロッパよりも常に多い。
- 農業用水の使用量は、乾燥帯の多いアフリカでは生活用水よりも少なく抑えられている。
- 経済発展が進んでいるヨーロッパでは、生活用水よりも工業用水の使用量の方が圧倒的に多い。

問7 タイなどの熱帯地域において、雨季に集中する降水量による洪水被害を避けたり、年間を通じた高温多湿な気候の中で風通しを良くしたりするために発達した、伝統的な建築様式の特徴として正しいものはどれですか。 (2017年 佐賀公立入試 類似)

- 床を高く作り、地面との間に空間を設ける高床式
- 熱を逃がさないように壁を厚くし、窓を小さくした石造り
- 地面を掘り下げて床とし、その上に屋根をかけた竪穴式
- 砂漠の熱を防ぐために、日干しれんがを積み上げた平屋造り

問8 1989年と2008年にそれぞれ撮影された山岳地帯の状況を比較すると、かつて山肌を広く覆っていた白い領域が、約20年間のうちに明らかに減少していることが確認されました。この変化をもたらした直接的な背景として最も適切なものはどれですか。 (2016年 秋田県公立入試 類似)

- 温室効果ガスの排出増加による地球全体の平均気温の上昇
- 高緯度地域における年間降雪量の急激な増加
- 酸性雨の影響による高山植物の枯死と土壌の流出
- オゾン層の破壊による有害な紫外線の遮断

答え合わせ・解説

問1	答え 1 赤道より南の南半球に位置しており、北半球が夏季にあたる時期に冬季（乾季）を迎えているため。	南半球に位置する地域は、地軸の傾きと公転の影響で北半球と季節が逆転します。オーストラリアのダーウィンのような熱帯サバナ気候の地点（地点Bの例）では、北半球の夏にあたる6月～8月は冬にあたり、中緯度高圧帯の影響下に入るため降水量が極端に少ない乾季となります。これに対し、ベトナムのファンチェットのような北半球の低緯度地域（地点Aの例）では、同時期は夏にあたるため、気温が最も高くなるという特徴が見られます。
問2	答え 1 ヨーロッパや北米などの先進地域だけでなく、アフリカやアジアを含むすべての地域において平均寿命が延びている。	一九七〇年から二〇二〇年にかけての半世紀の間、医療技術の進歩や公衆衛生の改善、食料供給の安定化などにより、世界のすべての地域で平均寿命は上昇しました。これは特定の先進国だけの現象ではなく、アジア、中東、ラテンアメリカ、アフリカなど、発展途上にある地域を含めた世界的な潮流であることが統計データから確認できます。
問3	答え 1 通気性を良くして、高い気温や湿気に対応するために、植物の葉や木を利用している	熱帯の島々では、年間を通じて気温が高く湿度も高いため、住居には風通しの良さが求められます。そのため、周辺で手に入りやすいヤシの葉や木を使い、風が通りやすく熱がこもりにくい構造にする工夫がなされています。
問4	答え 1 南半球に位置し、日本などの北半球の国々とは季節が逆になっている。	気温の変化に注目すると、1月・12月に気温が高く、6月・7月に気温が低くなっていることから、この都市は南半球にあることがわかります。北半球とは季節が逆転しているため、日本の冬の時期に夏を迎え、日本の夏の時期に冬を迎えています。また、年降水量が1200mmを超え、気温にも季節変化があることから、乾燥帯や熱帯ではなく、温帯の気候に属していると判断できます。
問5	答え 1 モンスーン（季節風）と呼ばれ、特定の時期に目的地へ向かう追い風として利用された。	インド洋では、大陸と海洋の温まり方の違いにより、夏と冬で風向きが反対になる季節風（モンスーン）が吹きます。帆船時代の商人たちは、この風向きの変化を正確に把握し、目的地に向かって「追い風」が吹く季節を選んで出航することで、アフリカ東岸、アラビア半島、インド、東南アジアを結ぶ広大な海域での交易を可能にしました。一月などの冬の時期は陸から海へ、夏は海から陸へと風が吹く性質を利用しています。
問6	答え 1 生活水の使用量は、衛生施設が整っているヨーロッパの方がアフリカよりも格段に多い。	地域別の水使用量を分析すると、経済的に豊かな地域ほど生活水準の向上に伴い、衛生的な生活を維持するための生活用水を多く消費する傾向があります。アフリカとヨーロッパを比較した統計においても、ヨーロッパの生活水使用量はアフリカの約9倍に達しており、使用量格差が顕著です。これは、蛇口をひねれば安全な水が出るという衛生施設の普及率が、そのまま生活水の消費量に反映されているためです。農業用水や工業用水との混同に注意する必要がありますが、生活用水に関しては「経済力と衛生施設」がキーワードとなります。
問7	答え 1 床を高く作り、地面との間に空間を設ける高床式	タイのような熱帯の地域では、雨季に降水量が急増し、河川の氾濫や浸水が起こりやすくなります。これを防ぐために、住居や倉庫の床を高くする「高床式」が採用されてきました。また、この構造は床下の風通しを良くするため、一年中高い気温の中で湿気や暑さをしのぐ生活の知恵としても機能しています。特に収穫した作物を守るための高床式倉庫などは、日本の弥生時代などとも共通する、湿潤な気候への適応例です。
問8	答え 1 温室効果ガスの排出増加による地球全体の平均気温の上昇	産業活動などに伴う二酸化炭素などの温室効果ガスの増加は、地球温暖化を引き起こします。その結果、1980年代以降の平均気温の上昇が顕著になり、それまで維持されていた高山の氷河が融解し、短期間のうちに視覚的に分かるほど面積が減少する事態を招いています。